

2011年6月発行 NO.11

《編集・連絡先》

広島市地球温暖化対策地域協議会

[事務局] 広島市環境局

エネルギー・温暖化対策部企画課

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2229

E-mail: ondanka-t@city.hiroshima.jp

広島市環境局エネルギー・温暖化対策 担当局長の新任あいさつ

このたび、4月1日付で環境局エネルギー・温暖化対策担当局長に就任しました藤本誠でございます。前任者同様よろしくお願いいたします。

「広島市地球温暖化対策地域協議会」は、これまでに、温室効果ガスの削減を図るため、多くの普及啓発活動に取り組み、大きな成果を上げてきました。皆様の日頃からの熱心な活動にご尽力に対しまして、改めて敬意を表します。

さて、今回の東日本大震災の影響により、現在、東日本を中心に電力の供給不足が大きな問題となっております。広島地区では、今夏の電力需給が直ちに逼迫する状況にはありませんが、地元の中国電力は、他の電力会社から余剰電力の融通を要請されていることなどから、需要者に対し節電・省エネを呼びかけています。

こうした中、貴協議会では、市民、事業者を対象に省エネアドバイスをを行う省エネ診断事業や省エネ行動に関する情報提供などの普及啓発事業を行っておられますが、こうした取組は、温室効果ガス削減にもつながるものであり、今後その役割は、より一層重要になってきます。

本市としては、今後とも、皆様と連携しながら、一人でも多くの市民・事業者が省エネや温室効果ガス削減に向けた具体的な行動を起こしていただくことができるよう、効果的な施策の展開に努めてまいりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。



平成23年度 協議会総会開催

4月27日に広島市役所2階講堂において、平成23年度の総会が開催され、活動報告・決算と活動計画・予算が議案どおり承認されました。

（平成22年度の活動の中から、従前と変わった取り組み事項など）

「家庭・消費者WG」 ひろしま温暖化ドクター事業においては、モニター家庭の省エネ診断を実施しているが、更に取組を進めるため、地域のイベント来場者や110万人のエコ講座の受講者などに対して省エネ診断を実施した。



また、情報誌の復刊を検討するため、WGの中に部会を設置し、9月末に情報誌のNo.8（復刊1号）、12月にNo.9、3月にNo.10を発行した。

「イベントWG」 10月に中国経済産業局・広島県などと7団体の主催で「温暖化ストップ！フェアinひろしま」を実施した。

「エコポイントWG」 広島市が新たに「市民参加のCO₂ 排出量取引制度」を創設したことにあわせて事業のPRも外部委託とされたため、この活動を中止した。

「事業WG」 省エネ電球キャンペーンについて、事業者や団体と連携しながら実施した。このキャンペーンは22年度限りで終了にしたが、「低炭素杯 低炭素地域フォーラム」において優秀賞を受賞した。



2011年4月から6月の活動

「教育・学習WG」 高校生環境ネットワーク広島として、エコカルタを作成して児童館に106セ



ット、留守家庭子ども会に30セットなど配布した。

「eco ちゃりWG」 22年度の新規事業として取り組みを行った。自転車に関する基礎資料作りのためにスーパーマーケットの買い物客や初詣客に対するアンケートなどを実施した。



（平成23年度の活動計画の概要）

「家庭・消費者WG」

ひろしま温暖化ドクター事業（継続）

＊地域に出向いて診断する「草の根省エネ診断事業」も行う。

エコ川柳事業（継続）

「イベントWG」

「環境の日」ひろしま大会への参加（継続）

「環ッハッハinよしじま」への参加（継続）

温暖化防止イベントの実施（継続）

「事業WG」

事業所の省エネ診断（継続）

＊年間のエネルギー使用量が原油換算で概ね100kl未満の事業所を対象として、先着で12件の診断を実施する。

「教育・学習WG」

高校生環境ネットワーク広島（継続）

「eco ちゃりWG」

自転車都市ひろしまを推進（継続）

＊チャリショッピングキャンペーンとして、新たに予算がつき、アンケート数を増やしてデータ収集・分析を行う。

「広報WG」

広報ワーキング（新規）

＊年4回の情報誌発行ほか、協議会の広報活動を通じて会員の連携と拡充を図っていく。

○家庭・消費者 WG:

・エコ川柳 22 年度入選作品の紹介
市役所、シャレオのデジタルサイネージに掲載（7 月中旬まで）

・ひろしま温暖化ドクター事業一般参加者募集
5月15日～6月15日 応募者73名

・110万人のエコ講座とのコラボで省エネ診断
5月23日 馬木公民館

・イベント時の省エネ診断
6月 5日 環境の日ひろしま大会
6月26日 東区女性会まつり

○イベント WG:

・環境の日ひろしま大会
6月5日（省エネ診断とパネル展示）

○eco ちゃり WG:

・コミュニティーサイクル事業（社会実験）について、広島市道路交通局から概要説明・質疑応答・意見交換実施 5月11日

・ちゃりショッピングアンケート
6月13日 フレスタ吉島店
6月17日 フレスタ吉島店

2011年7月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします

○家庭・消費者 WG:

・ひろしま温暖化ドクター事業
7月 12 日 新規モニター説明会
広島市留学生会館

・110万人のエコ講座とのコラボで省エネ診断
7月 11 日 古市公民館

・エコ川柳募集
7月 15 日～8月 31 日
応募要旨は、市民と市政 7/15 号参照

○eco ちゃり WG:

・ちゃりショッピングアンケート
7月3日 フレスタ吉島店

○教育・学習 WG:

・高校生による「太田川学」研究

活動報告詳細レポート

「環境の日」ひろしま大会

6月5日(日)10時から16時まで、県庁前広場において「環境の日」ひろしま大会が開催された。テーマは「みんなで楽しく「ひろしま環境の日」行動宣言!」。当日は幸いにも天候に恵まれ、多数の県民の方々が会場を訪れた。

広島市地球温暖化対策地域協議会は例年のように、テントひと張り分に当協議会の活動内容のパネル展示、省エネ診断及び現在広島市が社会実験を行っているコミュニティ・サイクルの紹介と自転車の展示を行った。

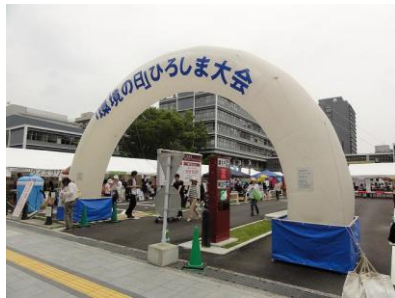
パネル展示は当協議会の構成と各ワーキンググループの活動内容を紹介したものであるが、パネルの内容も順次整備されてきている。

しかしながら、訪問者の関心は省エネ診断とコミュニティ・サイクルの方に集中して、ブースの奥に展示されたパネルまでは届かなかった。

省エネ診断は2台のパソコンで行ったが、ほぼフルタイムで受診者があった。合計26名の受診者があったが、昨年の14名と比べると、86%の増であった。

また、NHKをはじめ2社のテレビ局が来場され、受診状況をはじめ診断者と受診者のコメントを取材するなど、メディア関係もこれまでにない取り組み状況であった。

3・11以降、省エネルギーに関する関心が高まってきているとの印象を受けた。



コミュニティ・サイクルはすでに実施されているものであり、街中で目に触れているため、市民の皆さんの関心も高く、多くの質問が寄せられた。



当協議会のブースは全体として充実したものとなり、テレビ取材をはじめ市民の皆さんの関心を高めることができたと思う。

チャリショッピングアンケートの実施

燃料種別による家庭のCO₂排出量について、JCCCAの資料とひろしま温暖化ドクター事業のデータを比較すると、2008年度における広島市のガソリンによるCO₂排出量はJCCCAの資料の1.9倍であり、かつ家庭のCO₂排出量の約40%を占めている。広島市における家庭のCO₂排出量の削減を行うには、まずガソリンの使用量を減らすことが効果的である。



そこで、買い物の交通手段をマイカーから自転車へシフトすることを狙いとしてチャリショッピングアンケートを実施している。

現在のところ、㈱フレスタ様のご協力をいただいで、吉島店において平日、一日の変化、家族連れの多い日曜日などを想定してアンケートを実施中である。今後は他店舗でもアンケートを実施させていただき、有効な資料を提案したいと考えている。



TEAM MATE ひろしま 定期交流会の報告

5月30日に広島県公衆衛生会館において、平成23年度TEAM MATEひろしま第1回定期交流会が開催された。

平成22年度の事業報告と収支決算報告並びに平成23年度の事業計画(案)と収支予算(案)が承認された後、今年度新たに発足した環境省補助事業「地域で活動するNPO支援・連携促進事業」の説明と広島センターにおけるコンソーシアム(C)構成の案の説明があった。

エネルギーC、アグリグリーンC、フードライフC及びフィールドワークCの構成によって今後の事業展開を行うこととし、各TEAMの希望コンソーシアムを募った。広島市地球温暖化対策地域協議会は、今までの活動形態を考慮して、エネルギーCの事業への参画を希望した。

今後は、企画づくり交流会・学習会等を通じて企画の具体化、企画の実践を行い、来年1月開催予定のエコレシピ・オーディションで発表と成果の共有が行われる計画となっている。

省エネワンポイントアドバイス(4)

節電と温暖化防止対策

電力不足が懸念されている今年の夏。今年は節電への取組が特に必要とされています。それは、発電容量(kW)を上回る需要(kW)が想定されているからです。

このピークkWを抑制する方法としては「ピークカット」と「ピークシフト」があります。

「ピークカット」は最大電力(kW)を低く抑える方法です。軽装で過ごして空調の温度設定を上げたり、照明やテレビを消すことによって効果が出てきます。

「ピークシフト」とは、ピーク時間に使用する電気器具等をタイマーの利用などで夜間にシフトすることで効果が期待できます。

温暖化防止対策には、電力(kW)×時間(h)＝電力量(kWh)を削減することが重要です。

電力とともに電力量の削減に心がけましょう。



広島市からのお知らせ

今年も「市民参加のCO₂排出量取引制度」を実施します。

「市民参加のCO₂排出量取引制度」とは、市域におけるCO₂排出量の効率的な削減を図るとともに、家庭における排出量の削減取組をこれまで以上に進めることを目的として、昨年度に引き続いて実施するものです。

ご家庭で、電気や都市ガスの使用量の削減に取り組むことにより、CO₂削減量に応じたお金やサービス券を受け取ることができます。

現在参加世帯を募集中で、締め切りは9月30日(金)までにしており、2000世帯(先着順)で終了させていただきます。

* 広島市ホームページをご覧ください。

<http://www4.city.hiroshima.jp/CO2torihiki/>

市ホームページ⇒暮らしの情報「ごみ・環境」⇒地球温暖化「市民参加のCO₂排出量取引制度」

用語の解説(4)

電力のCO₂排出係数

温室効果ガス排出量算定に使用するエネルギーのうち、電力についてはその排出係数が電気事業者によって違いがあり、また年度によって変わってきます。

特定規模の事業所では、平成22年4月以降の報告から、①発電に伴って実際に排出した「**実排出係数**」と、②京都メカニズムクレジット等を電気事業者が購入することによって削減したCO₂分を考慮に入れた「**調整後排出係数**」の2つの係数で算定されます。

私たちが使用している電力の排出係数は、つぎのとおり公表されています。

	実排出係数 t-CO ₂ /kWh	調整後排出係数 t-CO ₂ /kWh	公表の 年月
20年度	0.000674	0.000501	H21/12
21年度	0.000628	0.000496	H22/12

(詳細は環境省報道発表資料参照)

協議会の事業者会員紹介

広島市の協議会は、市民・事業者・環境NPO・市の4者で構成しております。

事業者は、広島商工会議所・生協ひろしま・㈱エディオン・㈱フジ・中外テクノス㈱・広島電鉄㈱・㈱損保ジャパン・広島ガス㈱・出光興産㈱・(有)木下組・㈱ホテルグランヴィア広島・(財)広島県環境保健協会の12者です。次号から順次事業者の紹介をさせていただきます。



協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。

編集後記

第11号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。